

平成 27 年度 3R 推進功労者等表彰
内閣総理大臣賞受賞内容のご紹介



食品スーパーが提案する環境ループ事業



株式会社 ウジエスーパー
株式会社 ウジエクリーンサービス

私たちのあらまし

● 株式会社ウジエスーパー

本社：宮城県登米市

創業：昭和22年

設立：昭和57年

資本金：1億円

年商：287億円（平成27年2月期実績）

従業員数：1,870名

事業内容：[宮城県内30店舗で](#)

[食品スーパーマーケットを展開しています。](#)

● 株式会社ウジエクリーンサービス

設立：平成18年

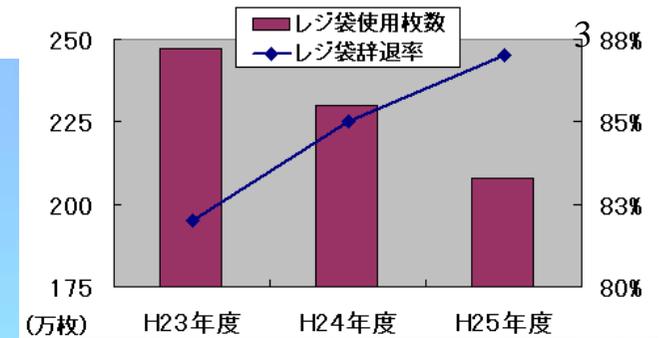
(株)ウジエスーパーの障害者特例子会社



【リデュース】

買物袋の削減	2007年よりレジ袋有料化を開始。 順次拡大し、現在では全店舗(30店舗)で 実施継続中です。(グラフ1)
使い捨て容器・ 製品の使用削減	食品トレーの重量見直しやノントレー可能な アイテムを増やしております。(写真1)
簡易包装 簡易梱包	ギフト商品については、お客様へお声掛けをし 包装形態を選べるようにしています。

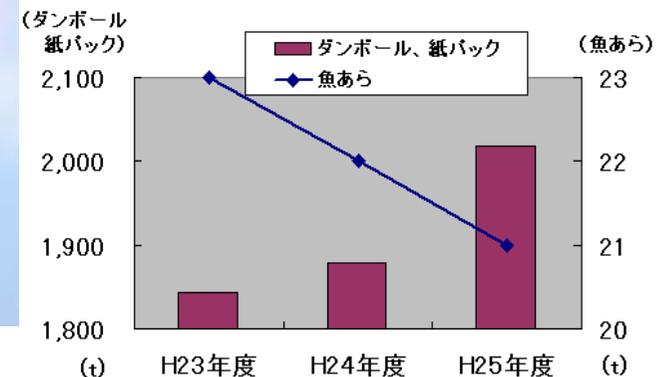
グラフ1



【リサイクル】

店頭での資源物の 回収・リサイクル	食品トレー、牛乳パック、空き缶、ペットボトルの リサイクルに20年以上前から取り組んでいます。 仙台市内店舗は、小型家電の店頭回収を開始 しました(写真2)
廃食油のBDF化	登米市と連携し、廃食油を店頭で回収し、 障害者就労支援施設にてBDF化しております。
店舗から発生する 資源のリサイクル	ダンボール、紙類、廃食油、魚あら、 生肉くず等を分別し、リサイクル しています。(グラフ2)

グラフ2



私たちのリサイクルループをご紹介します

【 私たちのリサイクルループ 】



地球と家計への思いやり

ウジエスーパーからの
お知らせ



ウジエスーパーでは、消費期限が短くなった商品をただ廃棄するのではなく、味や品質に問題のない状態で、お客様に満足頂ける価格でお買い上げいただき、その結果、資源の大切さと、ゴミ削減・CO₂削減に少しでも貢献できればと考えています。



値引きシールは
こちらになります

(表示の価格は本体価格です)

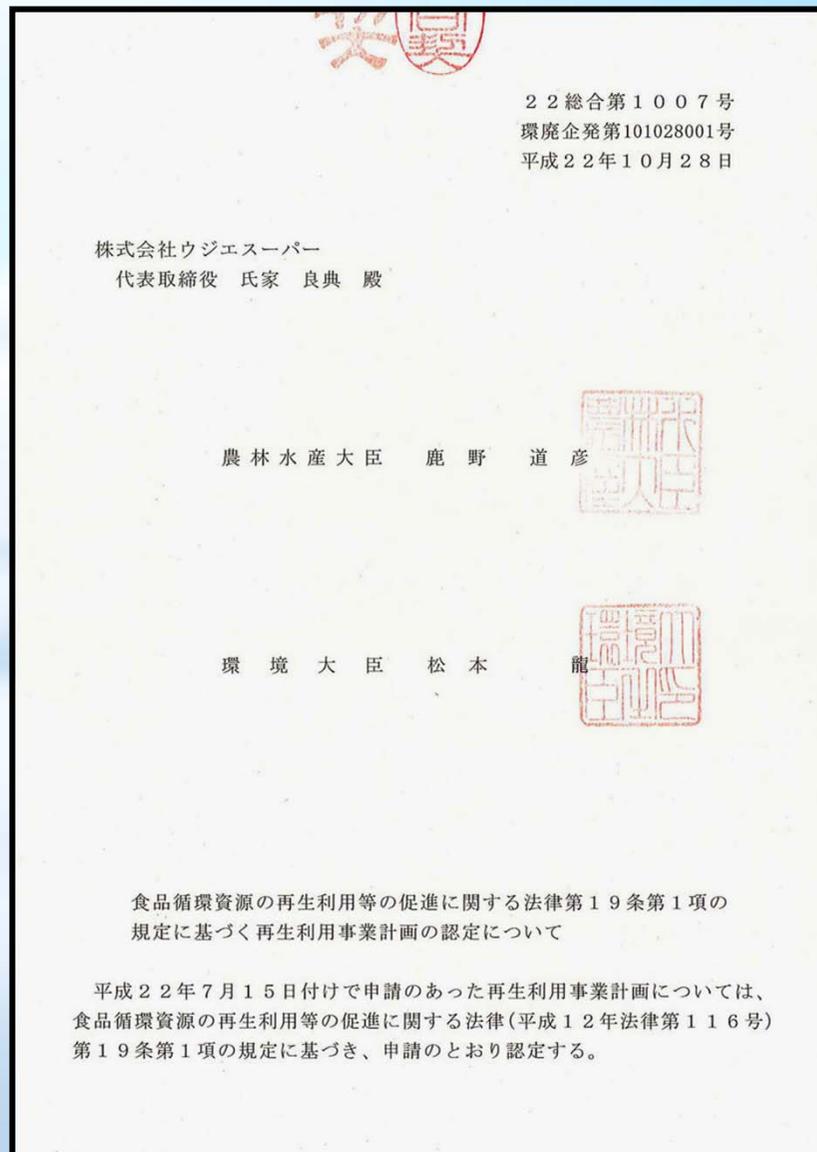
ウジエスーパーでは「地球と環境への思いやり」として消費期限が迫った商品に「ウジエコシール」を貼り販売しています。
食品ロスの削減に努力しているものの、それでも野菜くずなどの残さが出てしまいます。



その食品残さを各店舗から回収します。



平成22年10月、食品循環資源の再生利用事業計画の 認定を宮城県で初めて頂きました。



それにより、仙台市、塩釜市、石巻市の
ウジエスーパー各店舗から出た食品残さを
本社のある登米市に運ぶことが出来るよう
になりました。

また、登米市と栗原市の店舗からの回収は
一般廃棄物収集運搬業の許可を取得し、
特例子会社のウジエクリーンサービスが
担っています。



ウジエ無限ファクトリー



ウジエクリーンサービスでは、登米市の一般廃棄物の処分業の許可を取得しました。

収集した食品残さは肥料製造工場「ウジエ無限ファクトリー」に運び込まれます。



運ばれてきた食品残さは、シールやつまようじ等が混在していないか確認しながら破砕機に投入していきます。



シールやつまようじなどがあつた場合は取り除きます。



機械投入後、分解・発酵をさせて、約24時間かけて10分の1の肥料になります。その有機質肥料を『無限』と命名しました。



2014年1月に特許を取得

 特 許 証 <small>(CERTIFICATE OF PATENT)</small>	
特許第5445821号 <small>(PATENT NUMBER)</small>	
発明の名称 <small>(TITLE OF THE INVENTION)</small>	有機廃棄物分解作用を示す微生物、微生物組成物、有機廃棄物の分解方法および堆肥の製造方法
特許権者 <small>(PATENTEE)</small>	宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目7-1 株式会社ウジエクリーンサービス
発明者 <small>(INVENTOR)</small>	山形 洋平 小川 佳代子
出願番号 <small>(APPLICATION NUMBER)</small>	特願2008-259104 <small>その他別紙記載</small>
出願日 <small>(FILING DATE)</small>	平成20年10月 3日(October 3, 2008)
登録日 <small>(REGISTRATION DATE)</small>	平成26年 1月10日(January 10, 2014)
<small>この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。 (THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)</small>	
平成26年 1月10日(January 10, 2014)	
<small>特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)</small> 羽藤 秀雄 	

 特 許 証 <small>(CERTIFICATE OF PATENT)</small>	
特許第5445822号 <small>(PATENT NUMBER)</small>	
発明の名称 <small>(TITLE OF THE INVENTION)</small>	有機廃棄物分解作用を示す微生物、微生物組成物、有機廃棄物の分解方法および堆肥の製造方法
特許権者 <small>(PATENTEE)</small>	宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目7-1 株式会社ウジエクリーンサービス
発明者 <small>(INVENTOR)</small>	山形 洋平 小川 佳代子
出願番号 <small>(APPLICATION NUMBER)</small>	特願2008-259105 <small>その他別紙記載</small>
出願日 <small>(FILING DATE)</small>	平成20年10月 3日(October 3, 2008)
登録日 <small>(REGISTRATION DATE)</small>	平成26年 1月10日(January 10, 2014)
<small>この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。 (THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)</small>	
平成26年 1月10日(January 10, 2014)	
<small>特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)</small> 羽藤 秀雄 	

【地域との連携】

1. 地元生産者と連携

有機質肥料『無限』を使って、農薬や化学肥料の使用を出来るだけ抑えてお米を作ります。



有機質肥料『無限』で作られたお米は、
 本社所在地のある登米市が「のぼるこめ」と書くことから
 『無限のぼり米』と命名しました。



【地域との連携】

2. 地元企業と連携 その1

登米市に本社を構えるヤマカノ醸造株式会社様と連携して、
「無限のぼり米」100%と登米市産特別栽培大豆100%を
使用した十割麹味噌『夢のぼり』を製造し、販売しております。



登米で生まれた「夢のぼり」

皆の想いが新しい味噌の味を生み出しました。

団欒の風景が、夢に出てくるようです。

だから、夢のぼり。



【地元との連携】

3. 地元企業と連携 その2

同じく地元の銘酒“澤の泉”で知られる石越醸造株式会社様と連携して「無限のぼり米」を100%使用した純米大吟醸酒を製造。



(期間限定生産 SOLD OUT)

純米大吟醸『恋のぼり』

登米に恋して欲しいという
想いを込めて『恋のぼり』と
命名しました。



このように地元企業との連携から生み出される
価値の極大化を目指しています。

【ウジエクリーンサービスでは】

自社農場、「無限てるてるファーム」で、有機質肥料『無限』を使用して無農薬・無化学肥料で天日干しでの稲作や季節のさまざまな野菜を育てています。



さらに「無限てるてるファーム」では、有機質肥料『無限』を使って「カモミール」も育てています。

カモミールも無農薬・無化学肥料で育て天日乾燥させています。



手作業でていねいに収穫されたカモミールは、
東京本社の株式会社カミツレ研究所様で全量買取りして頂いております。
それを原料とした入浴剤などの商品が製造され、全国で販売されています。



【私たちのリサイクルループのまとめ】





【地域への広がり その2】

宮城県立小牛田農林高校の生徒さんと
美里店近くの国道沿いに
『華ロード』という花壇を作りました。
肥料は『無限』を使用して、
夏にはみごとな花を咲かせ、
ドライバーの方々や
ご来店されるお客様の目を引きました。



20



【地域への広がり その3】

公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)とbjリーグ・仙台89ERSとウジエグループで共催している『GO!GO!89ERS!!ECOスクール』では、環境活動の推進を目的とし、当社の取り組みや分別の作業を学習します。また、食育の一環として**無限のぼり米**を使い、仙台89ERSにちなんだ8.9mの恵方巻を作りました。試合会場には「**ウジエエコステーション**」を設置しています。

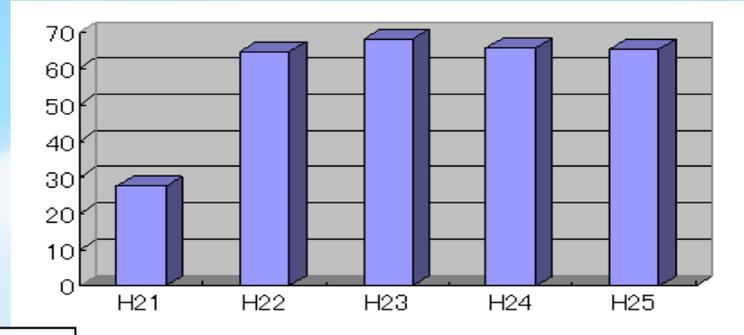


まとめ



リサイクル率

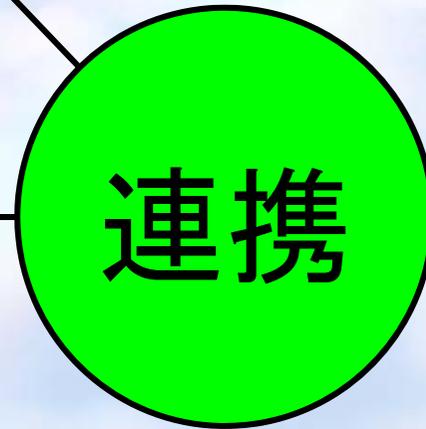
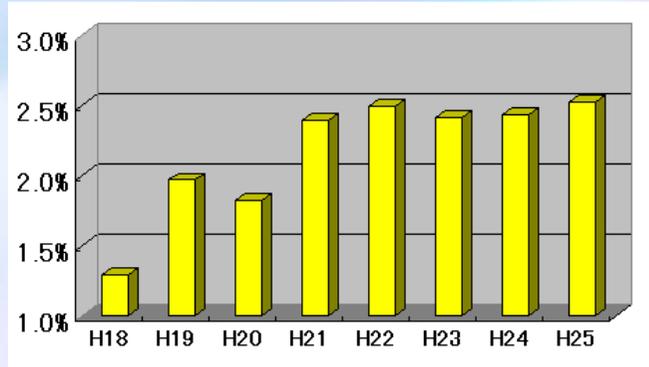
平成21年27.5%から平成25年65.2%に改善



関わる力で
自立を支援します

障害者雇用率

平成18年1.29%から平成25年2.53%に



ネットワーク力で
地方創生を
加速させます



わたしたちは、 「エコーガニック」を 推進します。

「エコ」+「オーガニック」=「エコーガニック」。

地球環境にやさしく、有機でモノを造り皆さんに提供していきます。

一般的には「エコ」はエコ、「オーガニック」はオーガニックと、

単独テーマと捉えて、対処しています。

私たちはこの二つを同時に充たすこと^{はじ}で創めて産れる
大きな価値を大切にしていこうと考えています。



指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 (LIST OF GOODS AND SERVICES)

第35類 野菜及び果実の小売又は卸売の業務において行われる顧客に対する利益の提供

商標権者 (OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)

宮城県登米市迫町佐沼字中江1-7-1

株式会社ウジェスーパー

出願番号 (APPLICATION NUMBER) 商願2009-072826

出願年月日 (FILING DATE) 平成21年 9月25日 (September 25, 2009)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成22年 1月22日 (January 22, 2010)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

細野哲弘



ご清聴ありがとうございました。

